

Sri Sangwan Chiang Mai School 訪問報告書



○報告者 木村 武史(タイ在住)

○訪問先 Sri Sangwan Chiang Mai School

住所 50 Moo 10, Chiang Mai-Phrao Road, Tambon Nong-harm, Amphur Sansai,
Chiang Mai 50290

電話 0 5349 8145

URL: www.swcm.ac.th

○訪問日 7月6日

○面談者 Milk 先生(中央) Mam 先生(右) (左端が筆者)



まず始めに、Milk 先生にお話を伺う。

全校生徒約 310 名、そのうち現在車椅子を使用できる割合は 50%。残りの 50%は使用できず、十分な数とは言えない。

今回、我々の車椅子は 14 台、歩行補助器具は 2 台 APHT より配布された。

また、他にもボランティアグループが車椅子を提供しているとのこと。グループの名前は、UCP というグループで所在地はアメリカである。4～5 年に一回配布。前は 40 台配布されたが、学校で使用しているのは 30 台である。特に子供用に特化しているわけではない。

また障害者の方は病院で書類を書いてもらえば政府より車椅子を提供される模様。ただ特に個人の状態に特化したわけではない

校内の様子

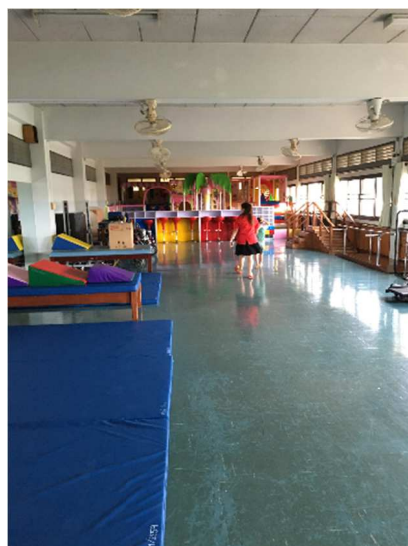
休み時間の様子



今回、APHT より配布された車椅子



外国より寄贈された遊具。



学校内の寄宿舍施設



一室 80 名が3室ある。両親の負担は、年間 800 バーツ。払えない両親は地域の人への寄付などで滞在することもある。

プール施設



プール施設。プールの底が電動で上がり先生達の負担を少なくできるタイプのプール。
ただ現在は故障しており、使用不可能。

授業風景



何かレクリエーションのようなものを開催していました。

Siriya Panyawong ちゃん9歳へのインタビュー



Siriya ちゃん 7歳

お祖母様の Ampon さんに話を伺う。

以前も政府より提供された車椅子を使用していたが、今回 APHT より提供された車椅子を使用。落下防止のストッパーが付いているので、子供がかなり動く為非常に助かるとのこと。以前はよく落下していた。面倒を見るのが以前より楽になったとのこと。

両親はいるが仕事で来られない。現在はお祖母様の Ampon さんが泊まりがけで面倒を見ている。

月曜日から金曜日は学校に滞在。土曜日、日曜日は家に帰る。家では以前の政府より提供の車椅子を使用。

Manee ちゃん 7歳インタビュー



Manee ちゃん7歳(右側)

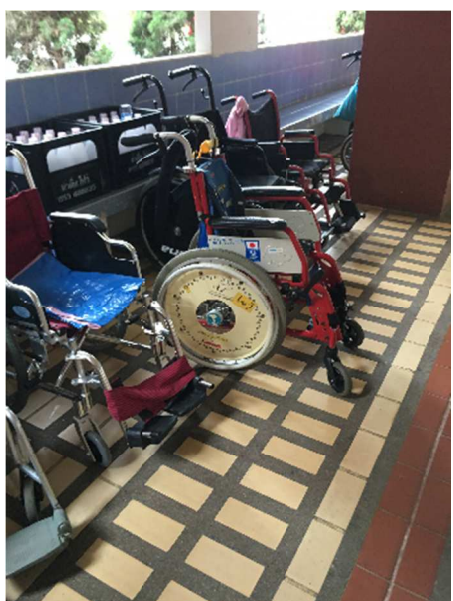
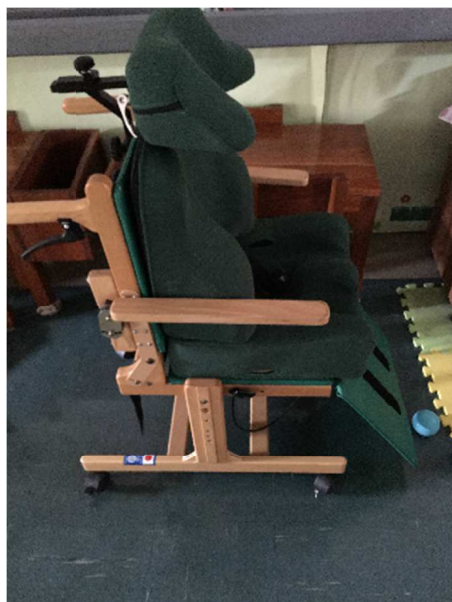
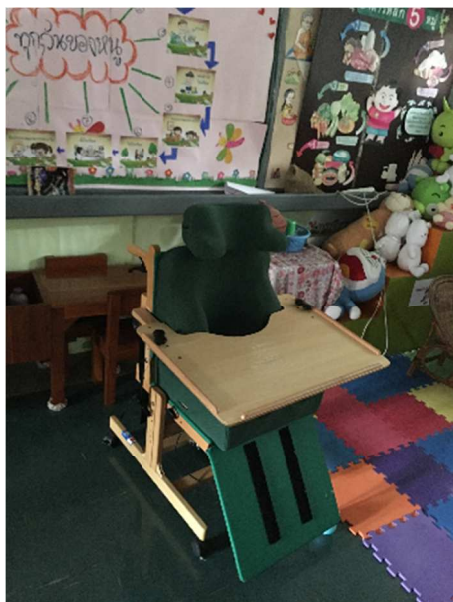
以前も車椅子を使用していたが、現在は APHT より提供の車椅子を使用。
以前の車椅子は大きく、かなり動かしづらかったが現在はかなり楽になったとのこと。
また、この車椅子が好きとのこと。

また上記の黄色い服の女の子(上の写真の左)は、介助者にインタビュー。名前は、聞き忘れてしまいました。介助者によると、以前の車椅子は移動の際にタイヤに手を巻き込まれ、何回も怪我をしていたが、現在の赤い車椅子は、手が巻き込まれない構造になっており非常に助かるとのこと。手を気にせず移動できるので非常に楽になって、助かる。



最後に学校の介助者及び先生によるとテーブルのついた車椅子(下記緑の車椅子)が非常に便利とのこと。できればこのようなタイプを配布して欲しいとのこと。こちら側の答えとしては、APHT に問い合わせてくださいとの回答。

また先生方は今回初めて APHT より配布されたが十分な数とは言えない。ぜひ数を増やしてくれとの要望。



以上